

服部 裕幸 名誉教授 略歴・業績

略 歴

1949 年 1 月 25 日	東京都に生まれる
1971 年 3 月	慶應義塾大学経済学部経済学科卒業
1973 年 3 月	慶應義塾大学大学院文学研究科哲学専攻修士課程修了
1976 年 9 月	慶應義塾大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程中途退学
1976 年 10 月	愛知教育大学教育学部助手（1980 年 3 月まで）
1978 年 9 月	ヘルシンキ大学（フィンランド）留学（1979 年 6 月まで）
1980 年 4 月	愛知教育大学教育学部助教授（1990 年 3 月まで）
1990 年 4 月	南山大学文学部哲学科助教授（1993 年 3 月まで）
1993 年 4 月	南山大学文学部哲学科教授（2000 年 3 月まで）
1993 年 10 月	南山大学文学部哲学科長（1996 年 8 月まで）
1994 年 5 月	南山大学教務委員会委員長（1996 年 4 月まで）
1997 年 10 月	南山大学文学部哲学科長（2001 年 3 月まで）
2000 年 4 月	南山大学人文学部人類文化学科教授（改組による学部所属変更） （2017 年 3 月まで）
2000 年 4 月	南山大学共通教育主任（2002 年 3 月まで）
2005 年 4 月	南山大学人文学部人類文化学科長（2009 年 3 月まで）
2005 年 4 月	南山大学文学部哲学科長（2006 年 3 月まで）
2012 年 4 月	南山大学人文学部長（2014 年 3 月まで）
2017 年 3 月	南山大学退職
2017 年 4 月	南山大学名誉教授

学 会

日本科学哲学会会員（1974 ～現在に至る）
科学基礎論学会会員（1975 ～現在に至る）
日本哲学会会員（1976 ～現在に至る）
日本科学哲学会理事（1994 ～ 1997.10）
科学基礎論学会監事（1993 ～ 1996.3）
科学基礎論学会監事（1999 ～ 2005.3）
日本科学哲学会理事（2000 ～ 2015.10）
日本哲学会委員（2003 ～ 2011.5）
科学基礎論学会理事（2005 ～ 2014.3）

業 績

〈著書〉

1. 『哲学入門——思想の歴史と論理学』〔共著〕（朝倉書店，1985），264pp.
2. 『言語・科学・人間』〔共著〕（朝倉書店，1990），224pp.
3. 『分析哲学とプラグマティズム』〔共著〕（岩波書店，1994），303pp.
4. 『言語哲学入門』〔単著〕（勁草書房，2003），236pp.
5. 『心の科学と哲学』〔共著〕（昭和堂，2003），300pp.
6. 『感情とクオリアの謎』〔共著〕（昭和堂，2008），289pp.
7. 『これが応用哲学だ』〔共著〕（大隅書店，2012），312pp.
8. 『シリーズ新・心の哲学Ⅲ 情動篇』〔共著〕（勁草書房，2014），242pp.

〈学研究論文〉

1. 「行為と規則」〔単著〕『科学哲学』第8号（1975/11）pp. 61-73
2. 「選列の理論について」〔単著〕『哲学』（三田哲学会編）第64号（1976/01）pp. 1-19
3. 「常識と懐疑論」〔単著〕『哲学と教育』第25号（1977/03）pp. 36-50
4. 「行為文の論理形式について」〔単著〕『哲学』（日本哲学会編）27号（1977/05）pp. 172-184
5. 「行為の個別化」〔単著〕『哲学』（三田哲学会編）第67号（1978/03）pp. 1-21
6. 「直観主義における数学と論理」〔単著〕『愛知教育大学研究報告』第27号（1978/03）pp. 161-171
7. 「事件変項を含むシステムについて」〔単著〕『科学基礎論研究』14巻1号（1978/12）pp. 29-34
8. 「心的事件に関するある種の判断について」〔単著〕『愛知教育大学研究報告』第28号（1979/03）pp. 121-131
9. 「ラッセルの自我に関する議論について」〔単著〕『哲学と教育』第28号（1980/03）pp. 21-31
10. “Notes on the formal system of events”〔単著〕*Bulletin of Aichi University of Education* No. 29（1980/03）pp. 121-138
11. 「記憶の概念といわゆる人物同一性の問題について」〔単著〕『愛知教育大学研究報告』第30号（1981/03）pp. 157-172
12. 「事件の同一性条件」〔単著〕『愛知教育大学研究報告』第31号（1982/02）pp. 127-138
13. 「クリプキ＝バトナムの本質主義」〔単著〕『愛知教育大学研究報告』第32号（1983/02）pp. 113-126
14. 「「様相論理」は論理ではないか～」〔単著〕『哲学と教育』第31号（1983/03）pp. 14-25
15. 「普遍の問題と意味の問題」〔単著〕『中部哲学会会報』第15号（1983/03）pp. 49-56
16. “Essential property of event”〔単著〕*Annals of the Japan Association for Philosophy of Science* Vol. 6 No. 3（1983/03）pp. 139-146
17. 「義務論理はいかに評価されるべきか」〔単著〕『科学基礎論研究』17巻2号（1985/03）pp. 29-37
18. “A generalization of the Lindahl’s theorem”〔単著〕*Bulletin of Aichi University of Education* No. 35（1986/02）pp. 123-130
19. 「異文化の理解について」〔単著〕『科学哲学』第19号（1986/11）pp. 75-88
20. 「文化の理解と受容」〔単著〕『中部哲学会紀要』第20号（1988/03）pp. 10-20
21. 「心に関する機能主義の射程」〔単著〕『愛知教育大学研究報告』第39号（1990/02）pp. 91-102
22. 「認知科学と素朴心理学」〔単著〕『アカデミア』人文・社会科学編 第52号（1990/09）pp. 1-19
23. 「言語行為論と会話の含意（1）」〔単著〕『アカデミア』人文・社会科学編 第53号（1991/01）

- pp. 305-339
24. 「言語行為論と会話の含意 (2)」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編 第 54 号 (1991/09) pp. 97-137
 25. 「言語に関する全体論的見地について」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編 第 57 号 (1993/01) pp. 293-314
 26. 「形式意味論と信念文のパズル」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編 第 64 号 (1996/09) pp. 229-252
 27. 「信念文の意味論と信念の世界」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編 第 67 号 (1998/03) pp. 269-303
 28. 「信念世界論者はいかに応えるか」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編 第 69 号 (1999/03) pp. 185-208
 29. 「信念世界を導入することについて」[単著]『中部哲学会年報』第 31 号 (1999/03) pp. 1-15
 30. 「古典的 AI 研究・フレーム問題・コネクショニズム」[単著]『平成 9・10・11 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (1)) 研究成果報告書』(2000/03) pp. 1-7
 31. 「コネクショニズムとは何か」[単著]『科学哲学』第 33-2 号 (2000/11) pp. 15-28
 32. 「『中国語の部屋』とその後」[単著]『平成 12・13・14 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (1)) 研究成果報告書』(2003/03) pp. 1-11
 33. 「AI 研究および認知科学に対するジョン・サールの批判」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編 第 77 号 (2003/06) pp. 81-103
 34. 「カーターの人間原理的推論について」[単著]『平成 13・14・15 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (1)) 研究成果報告書』(2005/03) pp. 12-24
 35. 「機能的合成性と『思考の言語』仮説」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編 第 80 号 (2005/03) pp. 1-23
 36. 「意志の弱さ・心の非法則性・素朴心理学」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編 第 81 号 (2005/06) pp. 39-58
 37. 「ヒュームの奇蹟論と確率論的推論について」[単著]『平成 15・16・17 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (1)) 研究成果報告書』(2006/03) pp. 1-11
 38. 「いわゆる帰納の正当化の問題について」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編 第 83 号 (2006/06) pp. 1-22
 39. 「情念に関する覚え書き」[単著]『平成 16・17・18 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告書』(2007/03)
 40. 「情念について」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編 第 85 号 (2007/06) pp. 21-38
 41. 「脳神経科学とエンハンスメント」[単著]『アカデミア』人文・社会科学編 第 90 号 (2010/01) pp. 89-116
 42. 「『拡張された心』仮説について」[単著]『アカデミア』人文・自然科学編 第 3 号 (2012/01) pp. 1-9
 43. 「情緒とは何か？」[単著]『アカデミア』人文・自然科学編 第 6 号 (2013/06) pp. 1-11
 44. 「意識のハードプロブレムは本当に解決されたのか」[単著]『アカデミア』人文・自然科学編 第 11 号 (2016/01) pp. 211-216
 45. 「情動の問題について」[単著]『フッサール研究』第 13 号 (2016/03) pp. 86-103
 46. 「歴史の物語り論 (ナラトロジー) 論争をめぐって」[単著]『アルケイア』第 11 号 (2017/03) pp. 1-28